

まほろば秦野通信

令和7年1月9日

タイトル	秦野の小正月行事を実施します。 (あくまっぱらい・石売り・道祖神まつり・筒粥神事)	
When (いつ)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ あくまっぱらい 北地区・横野：1月11日（土曜日） 午前8時30分集合・午前9時出発 西地区・堀西：1月11日（土曜日） 午前8時45分頃集合・午前9時出発 上地区・菖蒲：令和7年1月13日（月曜・祝日） 午後3時集合・3時30分頃出発 ◇ 石売り 南地区・東 町：1月11日（土曜日） 午前10時集合・出発 南地区・開戸町：1月11日（土曜日） 午後1時集合・午後1時30分頃出発 ◇ 道祖神まつり 南地区・今泉中里：1月11日（土曜日）午後1時～2時頃 ◇ 筒粥神事 東地区・東田原：1月13日（月曜・祝日）午前11時～正午 	
Where (どこで)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ あくまっぱらい 北地区・横野：加羅古神社（秦野市横野608番地） 西地区・堀西：天津神社（秦野市堀西769番地） 上地区・菖蒲：道祖神前（秦野市菖蒲997付近） ◇ 石売り 南地区・東 町：嶽神社（秦野市西大竹281） 南地区・開戸町：嶽神社（秦野市西大竹281） ◇ 道祖神まつり 南地区・今泉中里：道祖神前（秦野市今泉460） ◇ 筒粥神事 東地区・東田原：東会館（秦野市東田原1525） 	
Who (だれが)	各地区自治会・こども会等	
What (なにを) How (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ あくまっぱらい 【北地区・横野】 地元では獅子舞と呼ばれ、地区の小・中学生が、最年長の大將を中心に獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の約200軒の家のお払い 	

まほろば秦野通信

	<p>をして回ります。一時途絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子ども会が再開しました。</p> <p>【西地区・堀西】 波多川(はたがわ)子ども会の子ども達が獅子頭を持ち、地区の約200軒の玄関先などを回り「あくまっぱらい」と大声で唱えます。</p> <p>【上地区・菖蒲】 下東(しもひがし)地区の小・中学生の男子が、最年長の大將を中心に獅子頭や御幣(ごへい)を持ち、ひょっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約150軒の家の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。</p> <p>◇ 石売り 明治中ごろから行われていたとされる道祖神の石を売る全国的にも珍しい行事です。この石を買くと、子供に病気や災いが起きないとされています。</p> <p>毎年どんど焼きの前の日に、小学6年生がリーダーとなって、リヤカーで正月のお飾りなどを集め、道祖神の石やお札、おでんを各家庭に売り歩きます。東町地区では、お札を買ってくれた人に、中に小豆飯の入ったおひねりを渡します。売った道祖神の石は、どんど焼きが終わった後、買ってくれた家に取りに行って、元の場所に戻します。</p> <p>◇ 道祖神まつり 祖神に子供たちが集まり、最年長の親方を中心に、お札を売って回ります。(道祖神でも販売します)太鼓をたたきながら、町内を回ってお賽銭を集めます。</p> <p>◇ 筒粥神事 農作物の作柄を占う神事で、鍋で小豆粥と12本の竹筒を煮て、竹筒に入った粥の米粒の数とまきの燃え残りの様子から今年の作柄と天候を占います。</p> <p>地元農家らで構成する富士講のメンバーにより続けられており、平成21年に一度途絶えますが、10年ほど前から復活しています。</p>
<p>Why (なぜ)</p>	<p>無病息災、家内安全、子孫繁栄等を祈る行事です。</p>
<p>過去の実績</p>	<p>毎年小正月(1月15日前後)に実施しています。</p>



まほろば秦野通信

今後の取り組み		今後も、地域の文化として継承するため、毎年小正月に実施を予定しています。	
取材対応	撮 影	写 真 可 ・ 否	動 画 可 ・ 否
	インタビュー 対応者	よみがな	肩書 学年 クラス等
		氏名	
	制限内容や 注意事項	取材を希望される場合は、問い合わせ先担当者までご一報ください。 <u>インタビュー対応者等について、調整させていただきます。</u>	
問い合わせ (当日の担当者)	生涯学習課 文化財・市史担当：浦野 電話：0463（87）9581		